

令和8年4月30日

井原市議会議長

山下 憲雄 殿

井原市議会議員

山田 幾久枝

令和7年度政務活動費収支報告について

井原市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。



様式第1号 その2 (第5条関係)

令和7年度政務活動費収支報告書

議員氏名 山田 幾久枝

1 収入

政務活動費 330,000円

2 支出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
広 報 費	84,975	市政報告書作成・印刷費 84,975 円 (1-3号 46,613 円/4-5号 38,362 円)
広 聴 費		
要請・陳述活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	39,000	中国新聞購読料 (3,900×10月) 39,000 円 ※1紙目は山陽新聞
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	123,975	

3 残 額 206,025 円

(注) 備考欄には、支出金額の内訳を記載する。

様式第5号（政務活動費領収書等貼付台紙）

政務活動費領収書等貼付台紙

	整理番号			
支出項目 いずれか1つに 印を記入する	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☒ 広報費	☐ 広聴費
	☐ 要請・陳情活動費	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費
	☐ 人件費	☐ 事務所費	☐ その他の経費	

領 収 証

山田 幾久枝 様

No.

★ ￥ 46,613 -
但 市政活動報告書作成印刷費 (1~3号)

2025年 11月 07日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2丁目5-6
ラウレアM&F302号
アシストらぼ ポケット
堤 麻理

D211R18

領 収 証

山田 幾久枝 様

No.

★ ￥ 38,362 -
但 市政活動報告書作成印刷費 (4-5号)

2026年 3月 31日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2丁目5-6
ラウレアM&F302号
アシストらぼ ポケット
堤 麻理

D211R18

政務活動費領収書等貼付台紙

整理番号	
支出項目 〔いずれか1つに ☑を記入する〕	☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費 ☐ その他の経費
T4810326201161 領 収 書 2025 年 6 月 分 山田幾久枝 様 3,900 円 上記の金額を受領致しました。 7 年 7 月 / 日 中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ 中国新聞井原販売所 井原市井原町140 TEL63-1400 No. [Redacted] 税抜額 3,612 消費税(8%) 288 税抜額 消費税(10%) 金額 部数 3,900 × 1 銘柄 中国朝刊 担当者	
T4810326201161 領 収 書 2025 年 7 月 分 山田幾久枝 様 3,900 円 上記の金額を受領致しました。 7 年 8 月 / 日 中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ 中国新聞井原販売所 井原市井原町140 TEL63-1400 No. [Redacted] 税抜額 3,612 消費税(8%) 288 税抜額 消費税(10%) 金額 部数 3,900 × 1 銘柄 中国朝刊 担当者	
T4810326201161 領 収 書 2025 年 8 月 分 山田幾久枝 様 3,900 円 上記の金額を受領致しました。 7 年 9 月 / 日 中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ 中国新聞井原販売所 井原市井原町140 TEL63-1400 No. [Redacted] 税抜額 3,612 消費税(8%) 288 税抜額 消費税(10%) 金額 部数 3,900 × 1 銘柄 中国朝刊 担当者	

※領収書等は枠内
※領収書の但書き
内訳を明記する
※宛名の記載がない場合は、領収書等貼付台紙に宛名を記入すること。
※按分による支出の場合は、領収書等貼付台紙に按分の率と按分による政務活動費の支出額を明記すること。
※整理番号欄は、必要に応じて使用すること。

貼付台紙に内容及び

政務活動費領収書等貼付台紙

整理番号

支出項目

〔いずれか1つに
☑を記入する〕☐調査研究費☐研修費☐広報費☐広聴費☐要請・陳情活動費☐会議費☐資料作成費☐資料購入費☐人件費☐事務所費☐その他の経費

T4810326201161 領 収 書

2025 年 9 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

No.

税抜額	3,012
消費税(8%)	288
税抜額	
消費税(10%)	

金額 部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

7 年 10 月 / 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

担当者

T4810326201161 領 収 書

2025 年 10 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

No.

税抜額	3,012
消費税(8%)	288
税抜額	
消費税(10%)	

金額 部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

7 年 11 月 / 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

担当者

T4810326201161 領 収 書

2025 年 11 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

No.

税抜額	3,012
消費税(8%)	288
税抜額	
消費税(10%)	

金額 部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

7 年 12 月 / 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

担当者

※領収書等は枠

※領収書の但書

内訳を明記す

※宛名の記載がない場合は、領収書等貼付台紙に前記すること。

※按分による支出の場合は、領収書等貼付台紙に按分の率と按分による政務活動費の支出額を明記すること。

※整理番号欄は、必要に応じて使用すること。

等貼付台紙に内容及び

政務活動費領収書等貼付台紙

整理番号

支出項目

〔いずれか1つに
☑を記入する〕☐調査研究費☐研修費☐広報費☐広聴費☐要請・陳情活動費☐会議費☐資料作成費☐資料購入費☐人件費☐事務所費☐その他の経費

T4810326201161 領 収 書

2025 年 12 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

金額

部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

8 年 1 月 9 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

No.

税抜額 3,612

消費税(8%) 288

税抜額

消費税(10%)

担当者

T4810326201161 領 収 書

2026 年 1 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

金額

部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

8 年 2 月 1 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

No.

税抜額 3,612

消費税(8%) 288

税抜額

消費税(10%)

担当者

T4810326201161 領 収 書

2026 年 2 月 分

山田幾久枝

様

3,900 円

銘柄

中国朝刊

金額

部数

3,900 × 1

上記の金額を受領致しました。

8 年 3 月 1 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

No.

税抜額 3,612

消費税(8%) 288

税抜額

消費税(10%)

担当者

※領収書等は枠内

※領収書の但書き

内訳を明記する

※宛名の記載がない場合は、領収書等貼付台紙に補記すること。

※按分による支出の場合は、領収書等貼付台紙に按分の率と按分による政務活動費の支出額を明記すること。

※整理番号欄は、必要に応じて使用すること。

※貼付台紙に内容及び

政務活動費領収書等貼付台紙

		整理番号	
支出項目 〔いずれか1つに ☑を記入する〕	☐ 調査研究費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 人件費	☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 事務所費	☐ 広報費 ☐ 資料作成費 ☐ その他の経費

T4810326201161 領 収 書

2026 年 3 月 分

山田幾久枝 様

3,900 円

上記の金額を受領致しました。

〇年 3 月 31 日

中国新聞・朝日新聞・日刊スポーツ

中国新聞井原販売所

井原市井原町140 TEL63-1400

No. XXXXXXXXXX

税抜額	3,612
消費税(8%)	288
税抜額	
消費税(10%)	

銘柄 金額 部数

中国朝刊 3,900 × 1

担当者 XXXXXXXXXX

領 収 証

山田 幾久枝 様

No. XXXXXXXXXX

登録番号

金 額										

但 山陽朝刊 R7/6 ~ R8/6 分
令和 〇 年 3 月 26 日 上記正に領収いたしました

【内 訳】

現 金		税 率	8 %
小切手		金額(税別)	736,120
手 形		消費税額等	22,880
		税 率	%
		金額(税別)	
		消費税額等	

710-1313 岡山県倉敷市真備町川辺64-1

山陽新聞真備南販売所

TEL: 086-486-8421

FAX: 086-486-3431

T 3260001036832

※領収書等は枠内に重ならないように貼付すること。

※領収書の但書きやレシートに支出内容の明確な記載がない場合や印字が不鮮明な場合は、領収書等貼付台紙に内容及び内訳を明記すること。

※宛名の記載がない場合は、領収書等貼付台紙に補記すること。

※按分による支出の場合は、領収書等貼付台紙に按分の率と按分による政務活動費の支出額を明記すること。

※整理番号欄は、必要に応じて使用すること。



報告と決意・抱負

井原市議会議員選挙に初挑戦で、得票数
1317票 でトップ当選しました。

未来を担う子ども達に今よりもっとすばらしい“ふるさと井原”を残せるよう、市民の皆様と一緒に歩いていく決意です。「住みたくなるまち井原を目指して、子ども真ん中社会の実現」に向けて取り組めますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



6月の予定

- 16日(月) 本会議(開会、市長提案説明))
- 18日(水) 本会議(一般質問)
- 19日(木) 本会議(一般質問)
- 20日(金) 本会議(一般質問)
- 23日(月) 本会議(提案審議)
- 30日(月) 本会議(提案審議、閉会)



後援会事務局からのご連絡

総会のご案内

7月12日(土) 18:30~

公式LINE開始のご案内



公式LINEを始めましたので、ぜひご登録ください

←公式LINE



インスタ通信 Instagram（インスタグラム）の投稿から・・・



2025.05.04

爽やかな晴天の日に孫と一緒に家庭菜園に夏野菜の苗を植えました。

なす ピーマン トマト かぼちゃ オクラを植えました。収穫を楽しみにお世話します。

#家庭菜園 #夏野菜 #夏野菜の苗 #夏野菜の苗を植えました #井原 #井原市 #岡山県

2025.05.05

今日は、端午の節句

芳井の鯉のぼりを見に行きました。

爽やかな晴天のもと、鯉のぼりも気持ち良さそうでした。

#端午の節句 #芳井の鯉のぼり #芳井 #井原
#井原市 #岡山県



2025.05.05

先月生まれた孫の初節句 をお祝いしました。

元気に大きくなあれ～☒ ☒

#初節句 #孫 #初節句のお祝い #井原 #井原市 #岡山県

2025.05.06

家族と一緒に再度平櫛田中美術館へ

子供たちが素晴らしい作品を鑑賞することを大事にしたいです。

#いるのここの #大竹利絵子 #第31回平櫛田中賞受賞記念展 #第31回平櫛田中賞 #平櫛田中美術館 #田中美術館 #井原 #井原市 #岡山県



Instagram（インスタグラム）
アカウント @yamadakikue2477

山田きくえの日常を楽しく発信しています！
他の投稿はこちらから→



0YAMAKIKUE2477



6月議会の報告

問 放課後児童クラブの定員や設置場所に関する解決すべき課題について

答：定員については、国が定める面積基準や1支援単位の児童数40人以下の基準を参考に各クラブの運営委員会で定員を定めているが利用者の増加に伴い定員を超えた受け入れを市から依頼されているクラブもあり、支援員の負担増加や待機児童のリスク等に課題がある。次年度に間に合うように整備を進める。
設置場所については、老朽化した建物や小学校から遠い建物の利用等に課題がある。耐震性や部屋の形状を考慮すると、最も安全性が高いのは小学校の余裕教室の利用であることを念頭に適切な場所への移転等を検討する。

補足：定員や設置場所について井原市の現状を踏まえた明確な基準を示すことも必要。



問 保護者の負担軽減などの子育て支援として、長期休業中に学校給食センターを活用し放課後児童クラブで昼食を提供してはどうか

答：実施に向けて多くの課題はあるが、すでに実現している他の自治体（茨城県境町）の情報も活用し、支援のあり方を研究する。

補足：こども家庭庁のホームページでは、併当事業者と連携した取組も紹介されている。給食センターの利用に限らず、他の取組も視野に入れ、昼食提供の実現に向けての歩みを続けていただくことを希望。



問 井原市民病院の短期入院レスパイト事業（重症心身障害のある方を在宅で介護している家族の負担軽減が目的の事業）の利用状況や運営の課題について

答：直近3年間の利用状況として、令和4年度は4人で33日、令和5年度は5人で68日、令和6年度は6人で87日の利用があったが全て18歳以上であり、医療的ケア児の受け入れ実績はない。小児科の常勤医が1名であるため急変時の対応など安全性の観点から医療的ケア児の受け入れには慎重にならざるを得ない状況であるが、重要性やニーズは高いため実施可能な取り組みを今後も検討する。





中国地方も梅雨入り
雨上がりの散歩中、紫陽花がきれいでした。

#中国地方梅雨入り #梅雨入り #あじさい #雨上がりの散歩 #井原 #井原市 #岡山県 #井原市議会議員

2025.06.11

本日、市議会議員になって初めての一般質問をしました。言いたいことの半分くらいしか言えませんでした。終わってホッとしています。次回は、もっと上手にできるように努力します。
井原放送と井原市議会のYouTubeチャンネルで一部始終をご覧ください。

#一般質問 #初 #井原放送 #井原市議会YouTubeチャンネル #井原 #井原市 #岡山県 #井原市議会議員

2025.06.18



今日は一般質問3日目でした。議場には、議員と執行部の方々に約40名の方がいます。その中で女性は、女性議員の3名だけです。執行部は、全員男性です。もっと女性が増えるといいなあと思います。

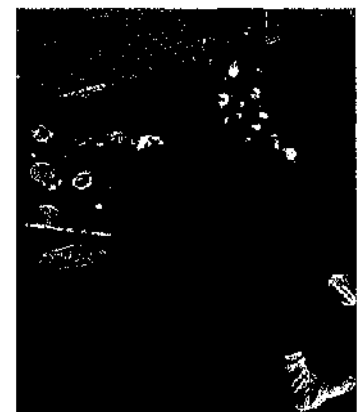
#市議会 #井原市議会 #一般質問 #女性議員 #井原 #井原市 #岡山県 #井原市議会議員

2025.06.20

おでかけ児童会館が出部公民館で開催されました。高屋児童会館の方が来て下さり、沢山の手作りゲームや工作で楽しい時間を過ごしました。次回は、参加者が増えるといいなあ～と思いました。

#おでかけ児童会館 #出部公民館 #いづえ #高屋児童会館 #井原 #井原市 #岡山県 #井原市議会議員

2025.06.23



Instagram (インスタグラム)
アカウント @yamadakikue2477

山田きくえの日常を楽しく発信しています！
他の投稿はこちらから→



04MJC37/BU2177



9月議会の報告

テーマ：就学前教育・保育施設について



問 保育施設の課題

答：市内では幼稚園に通う子どもが全体の25%ほどに対し、保育園は70%以上と大きな差がある。共働き家庭の増加や保育料無償化で保育園希望が急増し、待機児童も生まれている。市は近隣市との広域協定、保育園の定員拡大や保育士確保などで対応しているが、十分に追いついていないのが現状。

追加質問：待機児童数の把握と対応は？

答：約30名を把握しているが潜在的に多い可能性あり。私立保育園の定員増や近隣市の利用案内で対応。今後も拡充を模索。



問 幼稚園と保育園の現場での違い

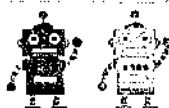
答：幼稚園は朝8時15分～18時、土曜は休みで昼食やおやつ代は保護者負担。一方、保育園は朝7時～19時まで利用でき、土曜も開園している。開園時間や費用負担の差があり、働く家庭にとって保育園の利便性が高くなっている。こうした違いが利用者数の差につながっている。

問 幼稚園利用が減っている理由と対策

答：幼稚園の利用が減っている主な理由は、無償化や働き方の多様化で長時間利用できる保育園が選ばれやすくなったこと。市は幼稚園の役割を見直す検討を進め、保護者には「預かり保育が18時まで無料で使える」などの情報を丁寧に案内している。今後は預かり時間の延長や昼食提供、役員負担の軽減なども含め、改善の方向を研究していく方針。

追加質問：幼稚園改善（預かり時間延長、役員負担軽減、長期休業中の昼食提供）は可能か？

答：いずれも重要な課題と認識。放課後児童クラブとの連携や負担軽減の取組は進行中。昼食提供は現状困難だが、今後総合的に研究・検討。



テーマ：井原市の義務教育の現状と課題について



問 学校現場の今と課題

答：井原市の小中学校では、地域に根ざした学習や仲間と協力して課題を解決する授業が広がり、子どもたちも前向きに取り組んでいる。一方で、不登校が増えていることや、全国調査で一部教科の基礎学力が十分に定着していないことが課題。今後も関係機関と連携し、きめ細かな支援を続けていく。

追加質問：全国学習状況調査の結果で、岡山県は中3の学習時間が小6より短い件についての見解は？

答：課題と認識。家庭学習習慣が重要で、授業と家庭学習を結びつける取組を強化。今後も改善に注力。

問 基礎学力を高める取り組み

答：市では「学力向上研修会」を開き、先生同士で工夫を共有したり、放課後学習で苦手克服を支援したりしている。特に校長の意識とリーダーシップを重視し、先進校の取組を学ぶ研修も実施中。子どもたちが自ら考えて取り組めるような学習をめざして取り組みを進めていく。

追加質問：学習意欲を高めるために小学生への検定導入の考えは？

答：目標を持つことは重要だが、まず授業を中心に主体性を高める指導を重視。検定も有効だが学校現場では自分事として学びに向かう力を育むことを優先。

問 定期テストの現状

答：以前は市内すべての中学校で年5回の定期テストを行っていたが、今は学校によって3回から5回と異なる。回数が減った学校では、代わりに単元ごとの小テストを行い、短い期間で理解度を確認している。こうすることで「分からない」を早めに見つけ、次の学習につなげている。

問 「いばらっ子伸びる学力支援事業」について

答：市では非常勤講師を配置して、少人数指導や先生2人での授業（チームティーチング）を行っている。その結果、授業が「よく分かる」と答える子どもが増えており、一定の成果が出ている。今後もこの事業を続け、さらに充実させることで、子どもたちの学力向上につなげていく予定。





アップる通信

12月議会の報告

こんにちは。市議会議員の山田きくえです。先日行われた12月議会にて、私は「男女共同参画」「保育園の入園状況」「学童保育の課題」について質問を行いました。当日は少し喉を痛めており、お聞き苦しい点もあったかと思いますが、皆様の声を届けるべく精一杯質問してまいりました。

今回の通信では、特に子育てや生活に関わる重要なポイントを分かりやすくご報告します。

① 女性がもっと活躍できる井原市へ

市役所や地域で、女性がリーダーとして活躍できているか質問しました。

【山田の質問】 市の計画では、指導的地位（リーダー職）に就く女性の目標割合が低すぎませんか？ 市役所こそ、率先して女性を登用すべきです。

【市の答弁】

- ・現状の目標値は達成できていません。
- ・「女性だから」ではなく、能力を見て登用していきたいと考えています。
- ・意識を変えるための啓発活動に力を入れます。



【ここがポイント📍】 市役所の女性管理職登用は、まだ目標に届いていないのが現状です。市は「性別ではなく能力で判断する」としていますが、子育てや介護をしながらでも責任ある仕事に挑戦できる環境づくりや、周囲の意識改革がどこまで進むかが今後の焦点となります。

② 保育園に入れない？「待機児童」の実態

市の看板にもある「保育料無料」は素晴らしい魅力です。しかし、「無料になっても、入れなければ意味がない」という切実な声が届いています。現状と対策について市に問いました。

【山田の質問】 国の基準では待機児童は「2人」とされています。しかし、希望する園に入らず待っているお子さんは実際にはもっと多いではありませんか？ また、年度の途中からでも入れるような、ゆとりある体制が必要だと考えます。

【市の答弁】

- ・12月時点で、入園をお待ちいただいている方は55人いらっしゃいます。
- ・定員を増やすため、私立保育園への支援や保育士の確保に努めます。
- ・令和8年4月からは、親が働いていなくても預けられる「こども誰でも通園制度」の準備を進めています。



【ここがポイント📍】 「隠れ待機児童」とも言える、希望通りに入れないお子さんが55人もいることが分かりました。「無料化」だけでなく、まずは「入りたい園に入れる」環境づくりを強く求めました。

③ 学童保育（放課後児童クラブ）の「お昼ごはん」

共働き家庭にとって、夏休みなど長期休みの「お弁当作り」は大きな負担です。少しでも負担を減らせないか、また学習支援の質について質問しました。

【山田の質問】 お弁当作りの負担を減らすため、給食や弁当配達などの「昼食支援」はできませんか？ また、宿題を見てくれるスタッフ（サポーター）の質にばらつきがあるため、改善が必要です。

【市の答弁】

- ・国のルール上、食事代に公費（税金）は使えません。しかし、民間のお弁当屋さんが配達してくれる仕組みが作れないか検討します。
- ・学習支援スタッフの研修を行い、質の向上に努めます。



【ここがポイント📍】 市のお金で昼食を出すことは難しいとの回答でしたが、「お弁当を注文できる仕組み」の検討が約束されました。実現すれば、朝の忙しい時間の負担が少し軽くなるかもしれません。

④ 出部（いずえ）地区の学童保育、移転問題

出部小学校の児童数が増え、現在の学童保育の部屋が足りなくなっています。市は新しい場所として「地場産業振興センター」を提案しましたが、課題があります。

【山田の質問】 移転先の候補が、学校から1キロも離れたビルの4階というのは心配です。トイレも一般の方と共用になるなど、安全面はどうなっているのでしょうか。もっと早くから準備ができたはずです。

【市の答弁】

- ・学校の近くで適当な民間の建物が見つかりませんでした。
- ・一時的な対応として、部屋の広さや駐車場があるセンターの4階を選びました。
- ・学校全体の計画も見直しながら、より良い場所を引き続き検討します。



【ここがポイント📍】 令和8年4月から一部のクラブが移転する予定ですが、保護者からは不安の声が上がっています。「とりあえず」の対応ではなく、子供たちが安全に過ごせる場所の確保を引き続き訴えていきます。



<おわりに>

「子育てするなら井原市」胸を張ってそう言えるまちにするためには、看板やスローガンだけでなく、中身の充実が必要です。子供たちの笑顔と、保護者の皆様のゆとりある生活を守るため、「子どもまんなか社会」の実現を目指して今後も「現場の声」を市に届け続けます。

*ご意見やご相談がございましたら、いつでも山田きくえまでお寄せください。



山田きくえ
ホームページ→



山田きくえ
公式LINE→



発行：山田幾久枝
〒715-0021岡山県井原市上出部町165-1
TEL&FAX：(0866)62-0944
Email：apple9609yamada@gmail.com



2月議会の報告

こんにちは。市議会議員の山田きくえです。令和8年2月の市議会で、皆さまの声を届けてまいりました。今回は「地域を元気にする応援団（地域おこし協力隊）」「芳井地区の賑わい創出拠点（道の駅）」「子供たちの放課後の場所」の3つを中心に質問を行いました。

地域の未来をより良くするための議論を、分かりやすくご報告します。

1. 街を元気にする応援団（地域おこし協力隊）について

都会から井原市へ移り住み、地域の活性化をお手伝いする「地域おこし協力隊」という制度があります。現在、10名が市内で活動中です。

【山田の質問】

これまで多くの隊員を受け入れてきましたが、市民からは「具体的に何をしているのか見えにくい」という声があります。活動の現状と、課題を教えてください。

【市の回答】

- ・**定住率は全国トップクラス**：これまでで活動を終えた方33名のうち約8割、25名が井原市に残っています。農家やデザイナーなど、今も市内で活躍されています。
- ・**活動を見えるようにする**：隊員がどのような活動をし、どんな成果を出しているかを地域に伝える場を考えます。
- ・**発表会の開催を検討**：市民の皆さまに活動を知ってもらうため、報告会の開催などを研究していきます。



【ここがポイント📍：交流と情報発信がカギに】

人生をかけて井原市へ移住してくれた、大切な若者たちです。彼らの情熱を、地域の力に変えない手はありません。私は、市に対して「隊員を孤立させないサポート」を強く求めます。まずは、活動内容が皆さまの目に届く仕組みを作らせます。地域一丸となって応援できる環境づくりを進めます。

②芳井地区の「賑わい創出拠点（道の駅）」について

芳井地区では、新しい施設（道の駅）の建設が計画されていましたが、12月に整備の延期が発表されました。

【山田の質問】「本当に必要なのか」「誰のための施設か」。なぜ「道の駅」という名前を使うのか。また、大きな税金を使う事業であるにもかかわらず、市民全体を対象とした説明会や意見を聞く機会がないのはなぜですか。

【市の回答】

- ・**買い物の場を守る** 近くのお店の立ち退きに合わせ、日用品を買える場所やバスの乗り場を整えます。



【市の回答の続き】

- ・ **子供の遊び場と働く場所** 雨でも遊べる屋内の遊び場や、高齢者・若い方が働ける場所も作ります。
- ・ **「道の駅」の名前を使う理由** カーナビやネットで紹介されやすくなり、市外からのお客さんと呼ぶ力になります。
- ・ **民間の力を借りる（DBO方式）** 建物の設計から運営までを、ノウハウのある民間の会社に任せることで、コストを抑えつつ質の高いサービスを目指します。

【ここがポイント📍：皆さまの納得と安心を最優先に】

大きな公共事業において、最も大切なのは「市民の納得」です。私は市民全体への丁寧な説明を求め続けます。「知らない間に進んでいた」ということは、決して許されません。私たちの暮らしに本当に役立つ施設になるのか。無駄な税金が使われないか。完成まで、市民の皆さまの目線で厳しくチェックしてまいります。

③ 出部地区の「放課後児童クラブ（学童）」の建物について

市内で唯一児童数が増えている出部地区では今後も増え続け、令和11年には最大437名になる見込みです。

【山田の質問】 令和11年には、なんと200人を超える子が放課後児童クラブを利用する見込みです。しかし、今のままでは子供たちが過ごす場所が圧倒的に足りません。この「危機的な状況」を、市はどう受け止めているのでしょうか。



【市の回答】

- ・ **当面の緊急対策：** 令和8年度から、出部幼稚園の2階を仮の施設にします。（1・2年生限定）
- ・ **新しい建物の新設：** 学校の外に、学童専用の建物を建てることを検討します。
- ・ **市長の決意：** 「子供たちの環境を良くしたい」と、大胆な対策を約束しました。

【ここがポイント📍】 子供たちの居場所を、一日も早く形に

今回の議会では、市から「専用の建物を検討する」という力強い言葉を引き出すことができました。しかし、新しい建物の完成には、少なくとも3年はかかるとされています。子供たちの成長に「待った」は通用しません。今のままでは、狭い教室で子供たちが窮屈な思いを強いられてしまいます。私は、市に対して「専用棟の早期建設」を強く働きかけます。



今回の質問で私が一貫して訴えたのは、「市民の皆さまの安心」です。制度や建物を作るのは、そこに住む「人」の幸せのためでなければなりません。これからも皆様の生活の現場に足を運び、小さな困りごととも議会へ届けてまいります。井原市をもっと元気で住みやすい街にするため、全力で取り組んでまいります。

* ご意見やご相談がございましたら、いつでも山田きくえまでお寄せください。



山田きくえ
ホームページ→



山田きくえ
公式LINE→



発行: 山田幾久枝

〒715-0021 岡山県井原市上出部町165-1
TEL&FAX: (0866)62-0944
Email: apple9609yamada@gmail.com